

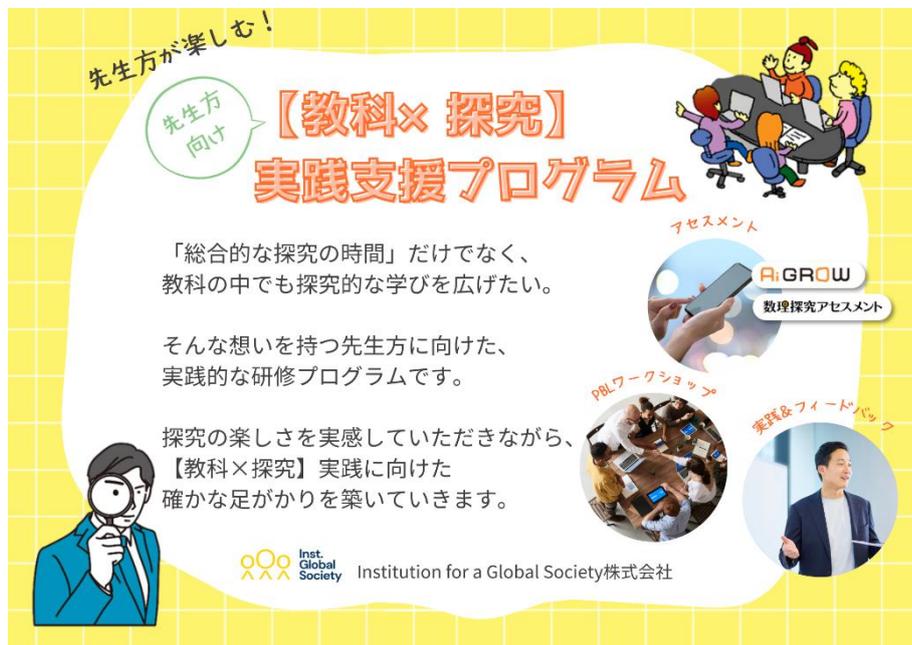
報道関係各位

2025年6月27日
 Institution for a Global Society 株式会社
 一般財団法人三菱みらい育成財団

**IGS の先生向け【教科×探究】実践支援プログラムが、
 三菱みらい育成財団の 2025 年度助成先に採択
 「先生が“探究の楽しさ”を体感しつつ、教科の枠内外を問わない探究的な学びの指導法を考える」
 ～教科横断的な探究の実践を全国に広げていく学校・教育委員会の募集を開始～**

Institution for a Global Society 株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 COO：中里 忍、以下「IGS」）は、未来を担う若者の育成を目指す教育機関等への助成、及びその成果を広く社会に波及させるための事業を行う一般財団法人三菱みらい育成財団（所在地：東京都千代田区、理事長：宮永俊一、以下「財団」）より「先生向け【教科×探究】実践支援プログラム」に関して、カテゴリ-5「主体的・協働的な学習（心のエンジンを駆動させる学習）を実践できる教員養成・指導者育成プログラム」に採択されたことをお知らせします。なお、助成期間は2025年7月から2026年3月までを第1期とし、原則として2027年度までの3年間の継続が予定されています。

これに伴い、IGS は、教科横断的な探究の実践を目指す学校・教育委員会の募集を開始いたします。



■ 背景：高校教育における「探究」実践の広がりや次のステップ

VUCA 時代においては、「答えのない問いに向き合う力」「自ら問いを立て、考え抜く力」「他者と協働しながら創造する力」が求められています。こうした力を育む学びとして、探究型学習が注目を集める一方で、多くの現場では「総合的な探究の時間」に限定され、教科の学びと切り離されているのが実情です。

IGS は、こうした現状をふまえ、先生自身が「探究の面白さ」を体感しながら、教科の中でも探究的な学びを実践できる力を得ていくことが、生徒の学びを変える第一歩になると考えています。

本プログラムでは、先生方が自身の「心のエンジン」を駆動させながら学びを深め、その変容が他の先生方、そして生徒へと波及していくことを目指します。

■プログラムの概要：体験から手応えへ。探究指導の“次の一歩”を共につくる

本プログラムは、全国の中高一貫教育校・高等学校の先生方を対象に、探究的な視点を自身の授業に取り入れるための実践力を高めることを目的とした学びの機会です。

PBL（Project Based Learning）の体験、教科横断型の授業設計、非認知能力・探究スキルの理解、教科への応用に向けた他の先生方とのディスカッション、アセスメントによる学習効果の可視化などを通じて、先生方の探究指導を進化させていきます。

【プログラムの主な構成】

- **名称：**「先生方向け【教科×探究】実践支援プログラム」
 - ※採択時プログラム名「先生自身が楽しむ！探究型学習実践プログラム」として財団ホームページに掲載されています：<https://www.mmfe.or.jp/partners/selection/?y=2025>
- **対象：**全国の中高一貫教育校・高等学校、教育委員会
- **定員：**先生方計 200 名（担当教科問わず）
- **期間：**2025 年 7 月～2026 年 3 月
- **形式：**対面開催
 - 対面形式は 2 日間、東京・大阪他で開催予定
 - アセスメントはオンラインで実施
- **主な内容：**
 - 探究で育てたい力（非認知能力・探究スキル）の理解とペアワークによる言語化
 - PBL 型授業の体験（先生役・生徒役を交えたロールプレイ） + ディスカッション
 - 教科に探究を取り入れる授業プランの設計・実践、フィードバック
 - 事前・事後のアセスメントによる教育効果の可視化と振り返り
 - アセスメントは、IGS が教育機関向けに提供する児童・生徒の非認知能力測定ツール「Ai GROW（アイ・グロー）」および、数理科学的なものの見方や考え方・スキルの測定ツール「数理探究アセスメント」を利用します。
 - Ai GROW：<https://www.aigrow.jp/aigrow>
 - 数理探究アセスメント：<https://www.aigrow.jp/suri-assessment>

※本プログラムは、IGS がカンボジアやウズベキスタンでアジア開発銀行（ADB）・東アジア ASEAN 経済研究センター（ERIA）とともに実施してきたプロジェクトのノウハウを活用して構成されています：

- ・ カンボジア事例：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000066.000054457.html>
- ・ ウズベキスタン事例：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000071.000054457.html>

■期待されるインパクトと今後の展望

本プログラムを体験した先生方が、それぞれの地域で探究学習の実践と推進の中核を担うことにより、教科の枠内外を問わず、探究的な学びの文化が広がっていくことを期待しています。

IGS は今後 3 年間、三菱みらい育成財団の支援のもとで本プログラムを継続的に展開し、全国の教育現場に寄り添いながら、先生と生徒が共に「心のエンジンを駆動させる学び」の実現に取り組んでまいります。

■三菱みらい育成財団 概要

一般財団法人三菱みらい育成財団は、三菱グループ創業 150 周年を記念して 2019 年に設立されました。次代を担う若者の育成を目的とし、グループ 24 社が 10 年間で 100 億円を拠出、高校や大学、NPO 法人等の教育プログラムに助成を行っています。2020 年度から助成を開始し、2024 年度までに延べ 384 機関、約 22 万 7,000 名が参加しています。

- ・ 名称 : 一般財団法人 三菱みらい育成財団
- ・ 所在地 : 〒100-0005 東京都千代田区丸の内二丁目 2 番 3 号
- ・ 設立年月 : 2019 年 10 月
- ・ 理事長 : 宮永俊一

■Institution for a Global Society (IGS) 株式会社 会社概要

社会で活躍する際に重要な「非認知能力」を中心に、人の能力を子どもから社会人まで一貫して可視化できるツール等を提供している EdTech/HRTech 企業。「分断なき持続可能な社会を実現するための手段を提供する」を企業パーパスに掲げ、2021 年 12 月 29 日に東証マザーズ市場（現・グロース市場）に上場。

- ・ 所在地 : 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南 1-11-2 4F
- ・ 設立 : 2010 年 5 月
- ・ 資本金 : 50 百万円（2025 年 3 月末現在）
- ・ 事業内容 : AI を活用した人材評価プラットフォームを企業や学校に提供
- ・ コーポレートサイト : <https://www.i-globalsociety.com/>

【本件に関するお問合せ】

■本プログラムへの応募・その他 IGS 教育事業に関するお問い合わせ先（学校・団体・自治体等）

Institution for a Global Society 株式会社 教育事業部 野口・高柳

MAIL: edtech@i-globalsociety.com TEL: 03-6447-7151

■IGS ご取材に関するお問い合わせ先（メディア）

Institution for a Global Society 株式会社 ブランドコミュニケーション室 広報担当 川村

MAIL: pr@i-globalsociety.com

■一般財団法人三菱みらい育成財団

HP: <https://www.mmfe.or.jp/>

E-Mail: info@mmfe.or.jp

<APPENDIX>

■「Ai GROW（アイ・グロー）」とは

○生徒同士の評価に AI の補正を加えることで、非認知能力を含む 25 種類もの能力を公正に評価

IGS は、生徒一人ひとりの強みを可視化・育成するための非認知能力測定ツール「Ai GROW」を 2019 年 4 月にリリースし、国内では 46 都道府県、国内外の小学校・中学校・高等学校約 500 校で有償導入されています（累計、2025 年 5 月末現在）。

知識を問う従来のテストでは評価が難しい「非認知能力」は、評価基準が曖昧になりやすく、また多様な能力を含むため、先生が生徒一人ひとりの能力を正確に把握することは非常に負荷が高くなります。「Ai GROW」は、生徒の自己評価に加えて、生徒同士が評価をする「相互評価」の方法を取り入れています。さらに、人が人を評価するうえで生じやすい、忖度や性格の甘辛などの不要な評価の偏りを AI（人工知能）が補正することで、非認知能力を含む 25 種類もの能力を、公正に可視化することができます。（特許第 6589257 号）

- 「Ai GROW」Web ページ：<https://www.aigrow.jp/aigrow>（日本語）

Ai GROW

■「数理探究アセスメント」とは

一層のデジタル化・グローバル化が進むこれからの社会では、文系・理系問わず、「数学や理科と他教科の学びをつなげ、協働して新たな知や解を創造する力＝探究力」を育むことが不可欠です。その力を育むために必要な数理科学的なものの見方や考え方・スキルである「自律的探究力」を確認し、成長につなげるアセスメントとして、東京学芸大学大学院 教育学研究科 西村 圭一教授監修のもと、開発しました。本アセスメントでは、生徒が問題に回答することで、絶対評価でスコアを算出します。

- 「数理探究アセスメント」Web ページ：<https://www.aigrow.jp/suri-assessment>（日本語）

数理⁺探究アセスメント